2019年８月24日

ガルーダインドネシア航空CEO

I Gusti Ngurah Askhara Danadiputra　様

（国名、航空会社名等）の労働者を組織するXX労組を代表し、この書簡を書かせていただいております。

我々の友好組合であるガルーダインドネシア航空客室乗務員組合（IKAGI）から、貴社が基本的な労働組合権を否定し、組合攻撃を行っているとの連絡を受けました。このような行為は、インドネシア国内法および国際法規に反するものです。また、貴社が貴社の客室乗務員や組合役員を尊重されていないことを表していると言えます。

労働者を代表して団体交渉を行う権利は、労働者の基本的権利であり、人権です。貴社はインドネシア国内法に基づく団体交渉を拒否しているばかりか、IKAGIの民主的な手続きを妨害したり、チェックオフを中止したりするなど、組合つぶしの戦術を展開しているものと理解しています。

このような行為は違法であると思われます。我々は、このような違法かつ不当と思われる行為に立ち向かうIKAGIを応援しています。また、国際運輸労連（ITF）が主導するIKAGI支援運動にも参加する用意ができています。ITFがIKAGI組合員を支援するために、ILOへの提訴や世界の加盟組織の動員を通じて合法的な行動に出ることを支援します。

国営企業である貴社におかれましては、インドネシア政府がILO法規を批准していることを認識していただきたいと思います。このような不当行為を通じて、貴社はこれらの法規に違反し、結果として、インドネシアに注目が集まっています。

ガルーダインドネシア航空は今、世界の注目を浴びています。世界は貴社の行動を監視しています。組合つぶしを止め、労働者や組合役員を尊重されるよう、要請致します。